

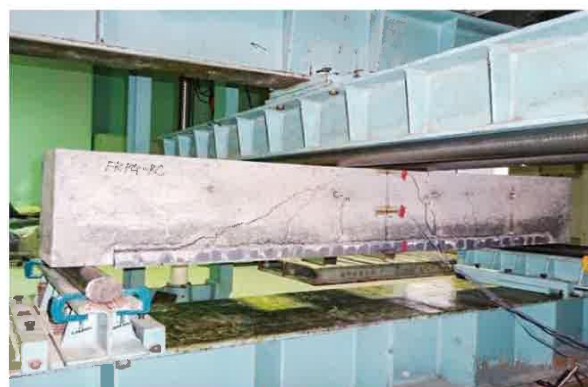
FRGカバーの性能(各種試験結果)

FRGカバー曲げ試験



FRGカバー曲げ載荷試験状況(正曲げ)

FRGカバーを用いた梁の曲げ試験



FRGカバーを用いた梁の曲げ試験状況

衝撃強度試験

FRGカバー付コンクリート版の衝突位置には凹みやひび割れなどの損傷が生じていません。



FRGカバー付コンクリート版

ひび割れ無



普通コンクリート版

ひび割れ発生

FRGカバー塩分浸透性試験

FRGカバー表面からの塩分浸透は認められません。

分析位置 試験体表面からの距離(mm)	Clイオン濃度(%)	
	FRG試験体	コンクリート試験体
0 ~ 1	0.00	1.15

株式会社 **ダイト**

防食・補修・浮桟橋事業部

〒232-0012
横浜市南区南吉田町1丁目13番地2 明光社ビル2階
TEL 045-315-5639 / FAX 045-315-5636
URL <http://www.daito-emc.com/>

FRGカバー工法

～FRP製高耐久性埋設型枠によるコンクリート被覆工～

NETIS登録番号: KTK-170019-A

水産公共関連民間技術確認審査・評価番号: 第18-B-001号

静岡県新技術新工法登録番号: 1646

第9回インフラメンテナンス大賞 農林水産大臣賞受賞



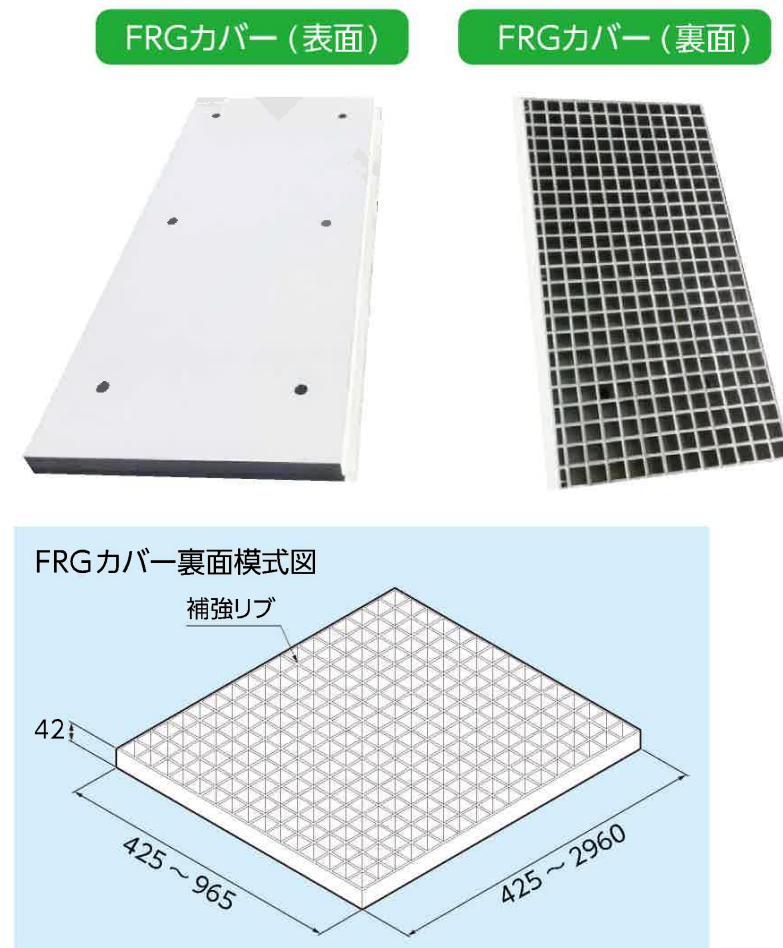
株式会社 **ダイト**

防食・補修・浮桟橋事業部

Ver.2 201806

FRGカバー工法 ～FRP製高耐久性埋設型枠によるコンクリート被覆工～

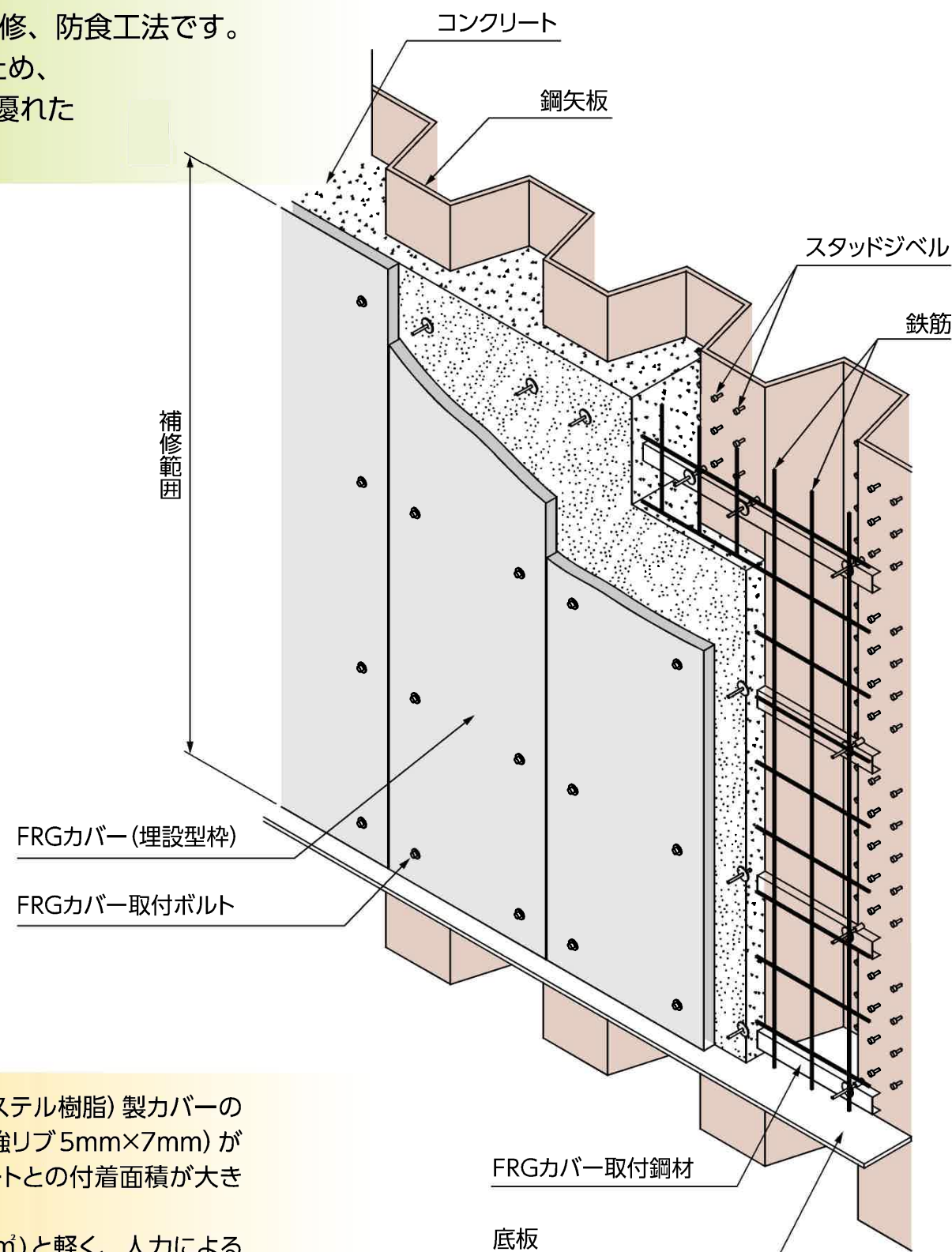
FRGカバー工法は、FRGカバー（FRP製高耐久性埋設型枠）を、カバー取付鋼材を介して岸壁・護岸の鋼矢板等に設置し、コンクリート被覆を構築する既設岸壁・護岸の補強・補修、防食工法です。カバーは補強リブを介してコンクリートと一体化するため、耐候性、遮塩性、中性化等の耐久性及び耐衝撃性に優れたコンクリート被覆を長期間維持することが出来ます。



FRGカバーは板厚3mmのFRP(イソフタル酸系不飽和ポリエステル樹脂)製カバーの裏面にFRP(オルソフタル酸系不飽和ポリエステル樹脂)製補強リブ5mm×7mm)がマス目状に配置されています。これにより現場打ちコンクリートとの付着面積が大きくなり、FRPとコンクリートの一体性が確保されます。

FRGカバーは1枚当たり重量が約60kg(1.0m×3.0m、21kg/m²)と軽く、人力による取付けが可能です。

FRGカバー工法 構造概要図



施工フロー

